

例会報告

第2419回例会報告議事録

日時 28年2月23日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手をつないで」

ビジター：石井晶子様(柏東RC)

ゲスト：なし

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



今日は2月19日の会長幹事会から報告させていただきます。

4月22日(金)に10分区合同例会が17:30登録開始、18:00点鐘で Crest Hotel 柏で行われます。その際ですが、各クラブより「ポリオ撲滅及びロータリー財団について」忌憚の無い意見を発表して欲しいとの要請がありますので、よろしくお願い致します。

次に、5月9日(月)に10分区親睦ゴルフ大会が習志野カントリークラブ キングコースで12組で開催されます。こちらにもご協力宜しくお願いします。

さて、話は変わりましたが、根戸付近には古墳があり、そこで発掘された頭椎大刀(かぶつちのたち)という1メートル位の刀が、今日まで市民プラザで展示されています。権威を象徴として下賜されたものと言われています。根戸のあたりにかなりの豪族がいたのだと思います。手賀沼に沿って丘陵地帯になっている所は古墳が多いです。私の家のそばにも古墳があります。その頃から地形が変わっていないということだと思います。大変なことです。

同じ場所に、我孫子市指定文化財の中里薬師三尊も展示されていました。ぜひご覧になってみてください。

親睦委員会報告

木村委員長



来月3月29日(火)の屋形船には現在29名参加予定です。

詳細が決まり次第またご連絡いたします。

出席報告

渡邊委員長

17名出席(全員で24名) 出席率70.8%

ご挨拶

柏東 RC 石井晶子様



はじめまして。先日の地区大会にインフルエンザで急遽参加できなくなってしまったため、メイクアップで来させていただきました。柏東クラブの親クラブが我孫子クラブと聞いています。今日はよい経験をすることができました。ありがとうございました。またよろしくお願い致します。

幹事報告

丸田幹事



・5月9日(月)の10分区の習志野カントリークラブでの親睦ゴルフに、先日の会長幹事会で我孫子から2組は揃うと思います、とお返事してありますので、ぜひご協力をお願いいたします。



いよいよ卓話の順番が回ってきてしまいました。恥ずかしながら、今日は幼少の頃からの生い立ちをバラシちゃおうかなと思います。

私は生まれも育ちも我孫子で、昭和36年に湖北で生まれました。東京オリンピックは3歳の時だったのですが、けっこう記憶が残っています。

家族構成は両親と姉、祖父母、曾祖父母の8人家族でした。

住居は曾祖父が生まれた時に建てられた、その当時に築75年の茅葺き屋根の日本家屋でした。当時はまわりも茅葺きの家が多かったです。その家は私が18歳の時に取り壊されましたが、すごく懐かしい思い出です。

ガスコンロなどが当時ありましたが、うちはかまどで食事の煮炊きをして、お風呂も薪で炊いていました。かまどで炊くお米の味は格別でした。薪を割ったり、かまどで飯を炊いたりするのは祖父がよくしていて、楽しくて私はよく手伝っていました。

「初めチョロチョロ、なかパツパ、ぐつぐついたら火をひいて、赤子泣いてもふた取るな」というのは、初めは弱火でかまの中を暖めて、その後、強火で一気に炊く、ぐつぐつ言うようになったら火を弱火にして火を止めて、あとは蒸らし上がるまで何があってもフタを取るな、ということです。この経験は後に子どもをキャンプに連れて行って、飯ごう炊飯をやる時に役に立ちました。子ども達の尊敬のまなざしが眩しかったのを覚えています。

茅葺き屋根は50cmくらい厚みがあるので、冬は暖かく、夏は涼しいと言われていますが、冬はすごく寒かったです。夏になると恐ろしいことに、どこからともなく現れるのがへびでした。かまどの部屋には天井板がなく、梁が見えるのですが、ある時、かまどの土間にいたら、目の前にへびが落ちてきたことがありました。その頃からへびは嫌いです。

家業は農業をしていましたが、私が物心ついた時には、敷地内で乳牛を10頭ほど飼育して酪農をしていました。小学校にあがる少し前に、自宅から1キロくらい離れた所に新たに牛舎を建てて、本格的に農業から酪農へと業態を変えて行きました。小学校に入って間もない頃、今日から牛舎に引越すから、と父に言われ、両親と姉と牛舎に移り住むことになり、祖父たちとの別居生活が始まりました。私はおじいちゃん子で就寝も每晚共にしていたので、祖父と離ればなれになるのがとてもつらかったのを今でも覚えています。別居の原因は嫁姑の問題でした。

牛舎の上の6畳一間で食事をして布団をしいて生活していました。学校から帰ると牛に餌を与えたり、糞をさらい裏の畑まで耕運機で運び降ろしたり家の手伝いをしていました。子牛が生まれる時は本当に嬉しくて、小学生のくせに夜中でも一緒にお産の手伝いをしました。

乳搾りと餌与えは朝夕それぞれ2回ずつ行いますが、両親は朝は4時に起床し、夜は8時から9時頃まで働いていました。50頭ほど飼っていましたが、両親2人だけの労力では限界にあったように当時から思っていました。365日、元旦もなく、家族で旅行に出かけたことは一度もありませんでした。一年中休みもなく2人で力を合わせて仕事をしていた両親を尊敬もしていましたので、友だちが家族と旅行に出かけたりお上品な生活を送っていても我慢する事ができたのだらうと思います。

その頃から、小学生なのに自分なりに仕事や将来像について考えるようになっていました。夢は何かという質問に同級生がプロ野球の選手やパイロットになりたいと言っていた中、私は実現可能なことばかり考えていたつまらない少年でした。あれから40年が経ち、小さくてもいいから会社の経営者になりたいという夢は現実のものとなりました。

中学校、高校に通う頃になると、家の近くには県営住宅、市営住宅が建設され、牛の臭いの苦情、悪臭苦情が近隣の住民から出始め、父は私が高校を卒業する時に農業を廃業することを決めました。父は46歳でした。

私は将来、自分の会社を持ちたいと思っていたので、高校卒業後、建築設備会社に就職しましたが、自分の会社を起こすには専門的な知識があまりにも足りないということで一念発起し、2年勤めた会社を辞めさせてもらい、専門学校に2年通うことになりました。

卒業間近の頃、恥ずかしいのですが、私と妻の間に子どもを授かり、学生なのに結婚式と披露宴をあげるようになってしまいました。結婚を前提としてお付き合いしていたし、お互いの両親も公認でしたが、はっきり言って順番を間違えました。30年まえですから、こういう形で結婚することは社会から受け入れてもらえることではなかったし、親戚からもよく思われていなかったこともわかっていましたので、妻の名誉のためにも自分がしっかりしていけないといけなくて自分自身に誓いました。また、子どもが出来て、自分の責任感も芽生え、意識と行動が変わっていったことも事実です。

父は酪農を廃業した後、縁あって清掃業の仕事を始めました。父と同級生だった、我孫子中央病院の創業者、星野邦夫先生に紹介していただき、病院の清掃を請け負ったのが始まりです。我孫子クラブのバスター会長でもあった星野邦夫先生は、星野我孫子市長や局長の叔父にあたる方です。星野先生は私の仲人もしてくださいました。星野先生は特別養護老人ホームの建設地探して苦戦

(次ページへ続く)

されていて、父は土地を提供してほしいと相談され、福祉事業であればと提供しました。それが現在の久遠苑です。

父は酪農をやめた後、別の場所で和牛の飼育をして生計を立てたいという思いがあり土地を探していたのですが、なかなかうまくいかず、星野先生に紹介していただき、我孫子中央病院と牛久市の方の病院の清掃を始めました。今、私がやっている会社の前身になります。星野先生には足を向けて寝られません。我孫子中央病院は聖仁会病院になりましたが、当時から仕事をさせていただいて、非常に助けられています。

専門学校に通っていた時はアルバイトで学費を捻出していました。父が始めた仕事は人手が足りなくて、よく駆り出されて手伝っていました。アルバイトよりかなり安く手伝いをさせられていて、「もう少し上げてよ」と父に言ったりもしましたが、父も厳しい状況だったので理解しながら手伝っていました。

学校を卒業して都内の空調冷凍設備等を専門にやっていた会社に就職して5年が経とうとしていた頃、父から帰ってこいコールがありました。父の会社を手伝えということでした。私は空調設備の会社を立ち上げたいと思っていたし、父の仕事に将来性も感じていなかったので抵抗したのですが、父が技術者を扱うのに苦戦していたようで、半年間説得されて、父の会社に入社しました。

父の会社に入ってわかったことは、ビル清掃やビル管理の仕事の社会的地位の低さ、業界全体の請負金額の低さ、結果、若い人は雇えず年配の方に頼らざるを得ない職種であるということでした。それは現在もあまり改善されていません。

私は平成元年、27歳の時に入社しました。当時バブル全盛期でしたが当社は何の恩恵もありませんでした。それどころか、当時3K「きつい」「汚い」「危険」という言葉が流行りましたが、うちは「きつい」「汚い」にあたり、人手不足で求人募集を出しても電話すらならない時期が相当続きました。

平成3年、私が29歳の時に突然、父が心筋梗塞で帰らぬ人となりました。突然大黒柱を失い、私1人で残された家族を養っていかなければならない責任を非常に強く感じました。父の死と同時に、父が残してくれた、というか残してしまった会社を守らなければいけないという責任と意識が強くなりました。また、社会的地位が低いこの会社で若い人が活躍でき、自分の家族を養っていけるような器の会社にしたいという一心で私は今現在までやってきました。

ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
瀧日会長	小池さんの話、ありがとうございました。	1,000円
丸田幹事	先週お休みしました。	1,000円
荒井会員	小池さん、卓話ありがとうございました。感動しました!	1,000円
小池会員	卓話をさせていただきました。	1,000円
鈴木会員	小池会員、心に響く卓話でした!!	1,000円
米田会員	来週も卓話お願いします。	1,000円
当日計		6,000円
今期累計		239,000円

閉会の言葉

瀧日会長

小池さんも非常に明るいですけれども、けっこう苦勞をされたのかなと話をうかがいました。ありがとうございました。

今週の表紙「ロケット戦闘機 秋水」

第二次世界大戦末期、日本国土を頻繁に空襲する米軍のB29等を迎撃する為にドイツのロケット戦闘機を模して設計・開発されていたのが秋水です。日本軍の最後の切り札として開発されましたが試作機で終わりました。首都防衛が目的の柏陸軍飛行場が秋水用の飛行場として割り当てられ、地下燃料庫も柏に建設されました。現在、三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所史料室に復元モデルが展示されています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。